

平成 19 年第 4 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 家庭ごみの有料化について

初めに、家庭ごみの有料化についてであります。 「クリーン北広島推進審議会」からの答申を受け、ごみの減量化、資源化の推進並びに負担の公平性を踏まえ「家庭ごみの減量化・有料化についての基本的考え方」をとりまとめました。

この内容について、市内 8 カ所における地域での説明会やパブリックコメント、また町内会・自治会を対象に出前講座などを実施し、市民の皆様からご意見やご要望をお聴きしてまいりました。

このような経過、ご意見を踏まえ、「家庭ごみ有料化に向けた実施計画」を策定し、本定例会に関係条例の改正を提案させていただいたところであります。

## 2 旧札幌北広島プリンスホテルの営業について

次に、旧札幌北広島プリンスホテルについてであります。施設を保有するパシフィックゴルフプロパティーズ（株）から、ホテル事業のノウハウを持ち北海道で広く事業展開している（株）アンビックスに事業運営を一任することとした旨報告を受けたところであります。

アンビックスは、ホテルの開業を平成 20 年 4 月に予定しており、通年営業を基本に、従来の宿泊やコンベンション機能のほかに温泉施設を増設し、健康維持・増進のための施設整備や客室の一部を長期滞在型に改造を行うなど、様々な顧客ニーズに応える運営を目指しております。

この開業により、市民の憩いや交流の場としての利用が図られ、従業員の雇用、地元産品や地元企業の活用など本市経済への波及効果も大きいと期待するものであります。

### 3 北広島市経済戦略会議について

次に、北広島市経済戦略会議についてであります。市内経済界や学識経験者の方々と平成 18 年 2 月から、本市経済の振興策等について検討をしてまいりました。

このたび、農業、工業、商業の各分野にわたり提言をいただいたところであります。これらの提言については、現在、策定中の第 3 次実施計画の中に盛り込むなど、今後の市政運営に活かしてまいりたいと考えております。

### 4 通年雇用促進支援事業について

次に、通年雇用促進支援事業についてであります。季節労働者への支援施策である失業保険の特例一時金の削減や冬期技能講習が廃止されましたことから、雇用確保や就職促進を目的に市や石狩支庁、市内経済団体、労働団体などで構成する季節労働者通年雇用促進協議会が設置されました。

協議会は 3 年を目処に、国、北海道、市からの支援のもと、求人開拓や就職相談、事業所を対象としたセミナーなどを実施し、通年雇用の促進を図っていくものであります。

なお、本定例会において所要経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

### 5 福祉灯油支給事業について

次に、福祉灯油支給事業についてであります。最近の灯油価格の急激な上昇は、これから本格的な冬を迎える北海道において家計を圧迫する大きな要因となります。特に、高齢者や障がい者、母子家庭などで所得の少ない世帯においては、厳しい冬となることが予想されます。

このため、緊急的措置といたしまして、これらの世帯の方々に暖房に必要な灯油等の購入費の一部を支援することといたしました。

なお、本定例会において所要経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 6 頑張る地方応援プログラムについて

次に、頑張る地方応援プログラムについてであります。独自のプロジェクトに、自ら取り組む地方公共団体を国が支援するこの制度に、本市では3件の計画を提案し、国に受理され総務省のホームページにおいて公表されたところであります。

提案内容は、安心して子どもを生み育てられる事業を推進する「子育て支援プロジェクト」、家庭、地域社会、学校などが連携して子どもたちを応援していく「みんなでサポートプロジェクト」、自主防災組織の育成や耐震改修の促進など防災力を高める「防災対策プロジェクト」であります。

これらの事業に対し、特別交付税が今後3年間措置されることとなり、より一層、事業の推進に努めてまいりたいと考えております。

## 7 きたひろしま地域SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の開設について

次に、きたひろしま地域SNSについてであります。市民が日常的な地域の話題や共通の趣味、関心ごとなどをインターネット上で情報交換することができる登録制のサービス「しゃべねっと」を11月19日に開設いたしました。

今後、市役所や地域からの情報も盛り込みながら、市民のコミュニケーションの活性化を図ってまいりたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。